

(1面)

- ・新年度のご挨拶
- ・庄川左岸農地防災事業中央管理所【開所式】
- ・三合新発電所【運用開始式】

(2面)

- ・平成30年度新規地区紹介
- ・主な人事異動及び新規採用職員紹介

となみ野水と里通信

第25号

平成30年5月31日

富山県砺波農林振興センター
 農業農村整備広報・広聴連絡会議
 〒939-1386 砺波市幸町1番7号
 電話(0763)32-8124【指導課】

新年度のご挨拶

砺波農林振興センター

所長 金村 俊文



皆様こんにちは。4月1日付け人事異動により砺波農林振興センター所長になりました金村です。これまで、県庁出納局検査室で主に工事検査を担当しております。どうぞよろしくお願いたします。

さて、当管内では春祭りが盛大に催され、田植えも始まり、地域のみなぎる活気を感じる今日この頃です。しかし、この身近にある豊かで美しい農村風景ですが、これは先人達が農業の営みにより自然と調和的な関わりをとおして長年維持保全されてきた賜物とおもっております。この農業の営みを経済学者の宇沢弘文氏は、「社会的共通資本」としてとらえ、これからも守り続けるために、いかにして農村を活性化し、そこで生きる人達の生き様を人間的、社会的な視点から豊かで希望あるものにしていくことが求められていると記述されています。

そこで、県といたしましては、新たな農業・農村振興計画をたて、将来にわたり発展する「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村」の実現を目指しています。そのために、富山米新品種の「富富富」の本格的栽培や、「1億円産地づく

くり」として、たまねぎ、にんにく、アスパラガス、ブロッコリー等の大規模園芸産地育成による農業所得の増加を図っています。さらに、米の生産コスト削減を可能にする農地の大区画化・汎用化、安心して暮らせる農村地域の実現にむけ防災・減災対策等を推進することとしております。

当センターにおきましても職員全員で、持続可能で人と環境にやさしい農業と安全安心で魅力ある農村の実現に向けて、これからも一生懸命取り組んでまいります。今後とも、皆様方におかれましては、一層のご支援、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。



庄川左岸農地防災事業中央管理所【開所式】

4/13(金)に庄川左岸農地防災事業中央管理所の「開所式」が行われました。

中央管理所操作室では、庄川左岸地区で整備された転倒ゲートを遠隔操作により起立・転倒させたり、現地に設置されている監視カメラの映像を大型モニターで確認できることに加え、誤操作が生じないように操作の都度「確認」されるシステムとなっています。また、ゲート稼働時には現地で「警戒音」が鳴り響くように設定されています。

今後、中央管理所からの遠隔操作により、分水ゲート等の国営・附帯県営事業で新たに整備された庄川左岸地区の各施設を一元的に管理することが可能となり、大規模な降雨時の迅速な対応による、災害の未然防止が期待されます。



開所式の様子



操作室

三合新発電所【運用開始式】

平成27年度から地域用水環境整備事業「三合新地区」として庄東用水土地改良区が事業主体となり総事業費277百万円かけて整備を進めてきた三合新発電所が、この度めでたく完成し、平成30年5月28日(月)に運用開始式を迎えました。

この発電所は、庄川右岸幹線水路から分岐する三合新用水路の最終取水門より下流約400m地点で取水し、管路(FRPMφ600)にて470m先の砺波市芹谷地内まで導水し、最大流量0.33m³/s、有効落差30.4mを利用して、最大出力78kw、年間発生電力量588Mwhの発電を行うものです。

これにより、一般家庭約140世帯分に相当する電力を供給するとともに、年間約326tのCO₂排出削減が図られます。なお、発生した電力は全量を北陸電力(株)に売電し、収益は土地改良施設維持管理費の軽減を図るとともに、農業水利施設の維持・保全体制の構築に資することを目的としています。



発電所の外観



運用開始式の様子

<諸元>

- 発電出力：最大78kw、常時53kw
- 最大使用水量：0.33m³/s
- 有効落差：30.4m
- 年間発生電力量：588MWh

農地整備事業



○地区名：桜ヶ池幹線一期地区
 ○事業箇所：南砺市野口外地内（旧城端町）
 ○工期：平成 30 年～平成 39 年
 ○受益面積：238.2ha
 ○事業内容：用排水路 7,040m
 ○総事業費：1,744 百万円(7/10 達 1,858 百万円)

○地区名：祖谷一期地区
 ○事業箇所：南砺市祖谷地内（旧福光町）
 ○工期：平成 30 年～平成 38 年
 ○受益面積：30.4ha
 ○事業内容：区画整理(整地工・道路工・用排水路工)1 式
 ○総事業費：1,427 百万円(7/10 達 1,495 百万円)

○地区名：天神地区
 ○事業箇所：南砺市天神地内（旧福光町）
 ○工期：平成 30 年～平成 35 年
 ○受益面積：30.2ha
 ○事業内容：用水路工 5,961m、排水路工 317m、客土工 2.9ha、区画整理工 10.7ha
 ○総事業費：408 百万円 (7/10 達 438 百万円)

平成 30 年度新規地区紹介

☆砺波農林振興センター
 管内の情報を
 ホームページで発信中！！

<http://www.pref.toyama.jp/branches/>

1633

砺波農林

検索



ブログやっています。

“とやま水土里探訪ブログ”

<http://facebook.com/toyama.nousonsebi>

農村地域防災減災事業

○地区名：庄川左岸四期地区
 ○事業箇所：砺波市、高岡市、小矢部市、南砺市
 ○工期：平成 30 年～平成 35 年
 ○受益面積：6,212.0ha
 ○事業内容：用排水路 8,710m
 (千保口用水路、上新又口用水路、舟戸口用水路(上流)、上黒石川排水路(下流)、茶ノ木川)
 ○総事業費：4,440 百万円



4 月 1 日付けの主な人事異動 NN 事業関係 () は前職

- 砺波農林振興センター所長 金村 俊文 (検査室 次長)
- 企画振興課長補佐 吉田 一洋 (高岡農林振興センター指導班長)
- 管理検査課長 森 康範 (富山農林振興センター農村整備課長)
- 管理検査課副主幹 平野 豊 (富山農林振興センター管理検査課副主幹)
- 指導課長 福澤 秀人 (商工企画課副主幹)
- 計画班長 平木 叙光 (農村振興課副係長)
- 指導班長 南 幸男 (高岡農林振興センター水利防災第一班長)
- 農村整備課長 高田 克彦 (砺波農林振興センター指導課長)
- 農地整備第一班長 東 孝宏 (高岡農林振興センター計画班長)
- 農地整備第二班長 宮橋 長生 (砺波農林振興センター副主幹・係長)

イベント開催案内

- ☆6/9 (土) 水土里探訪ウォーク in 氷見 (氷見市ふれあいの森第2駐車場)
- ☆6/29 (金) ため池等一斉パトロール (県内)
- ☆7/17 (火) 「元気とやまむらづくり推進大会 2018」 (富山県民会館)
- ☆8/22 (水)～24 (金) とやま帰農塾【五箇山なぎ畑塾】 (南砺市菅沼地区)
- ☆9/1 (土)～7 (金) とやま農山漁村インターンシップ in 東中江 (南砺市東中江地区)
- ☆10/10 (水) とやま水土里フォーラム (南砺市井波総合文化センター)

編集後記

今年度に入りはや2ヶ月が経ち、1日1日過ぎるのが早いなど日々感じております。私事ですが、初めての異動で前職の本庁とは、全く内容の異なる仕事に日々苦戦しております。新採1年目の時のような気持ちですが、3年目としての自覚を持って仕事に励みたいと思います。さて、今年度は、年3回発行する予定としておりますので、今後発行する分についても、ぜひご一読いただければと思います。(農地整備第一班 記)

四月から農村整備課水利防災班に配属となりました清水晃次です。子供の頃より川や用水水が流れるのを見るのが好きだったので、河川や用水路等の水に関係している部署に配属されたことはとても運の良いことだったと思います。まだ慣れないことやわからないこと、不安なことも多いですが、毎日先輩方の仕事を見て様々なことを勉強していき少しずつ知識や技術を身につけていきたいと思うので、今後ともご指導のほどよろしくお願ひします。



しみず こうじ 清水 晃次

四月より指導課計画班に配属となりました竹川美星です。大学時代には地球科学を専攻しており、ため池堆積物などの物性を利用した研究をしていましたので、農業土木の分野は全くの初心者です。知らないことばかりの日々は、新鮮で楽しいもあります。まずは、言葉覚えたり、多くの現場を見たりして、レベルアップしていきたいと



たけがわ みほし 竹川 美星

主な人事異動及び新規採用職員紹介